



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤間 和敏

問合せ先責任者（役職名）常務取締役管理本部長（氏名）瀧井 創 TEL 03-3538-2943

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	27,993	3.8	1,287	△20.1	1,333	△18.2	808	△24.8
2024年3月期中間期	26,960	3.0	1,611	17.1	1,631	17.2	1,074	20.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 820百万円（△24.3%） 2024年3月期中間期 1,083百万円（20.1%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.77	32.45
2024年3月期中間期	43.49	43.06

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	29,988	16,201	53.8
2024年3月期	30,987	16,068	51.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 16,122百万円 2024年3月期 15,988百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,120	5.7	3,300	8.8	3,278	3.9	2,135	6.5	86.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を100,000株取得しております。また、2024年7月31日付で譲渡制限付株式報酬としての自己株式15,817株の処分を行っております。2025年3月期の連結業績予想における「1株当たりの当期純利益」については、当該株式処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有  
新規 1社 (社名) セントケアほっと株式会社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	25,003,233株	2024年3月期	24,998,733株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	363,831株	2024年3月期	279,648株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	24,668,783株	2024年3月期中間期	24,705,517株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されております。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しております。従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっております。また、2024年度は介護・医療・障害福祉の3つの報酬の同時改定(いわゆるトリプル改定)年度となっており、当社グループとしましてはこれらの制度の変化に迅速に対応していくとともに、引き続き中重度・医療的ニーズの高いお客様への対応を重要課題として、「これまでも、これから、ずっと在宅」をスローガンに掲げ、お客様が住み慣れた地域で生活し続けることを可能にするソリューションを提供してまいります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高では279億93百万円(前年同期比3.8%増)となりました。重点投資サービスである訪問看護や看護小規模多機能型居宅介護といった医療系サービスが成長を牽引したものの、訪問介護サービスでは依然として休廃止数が高止まりの傾向にあります。デイサービスでは既存拠点を中心に利用控えからの休廃止といった流れが継続していることで回復が遅れたほか、新規開設拠点においても立ち上がりのスピードが遅れており、これをM&A(株式取得及び事業譲受)で取得した拠点がカバーする形で増収となっております。この他、住宅リフォームは減収と苦戦しており、全体では緩やかな伸びに留まりました。

費用面では、人員関係の影響としましては、期初から取り組んだ従業員の待遇改善により人件費が増加しておりますが、これは先々の採用・定着に寄与するものと見込んでおります。また、採用環境としては厳しいながらも当期は人材採用を強化しており、これによる採用関連費用が増加しました。近年では契約社員は減少傾向にあり、登用も含め正社員の採用による増員と稼働時間の確保は進んではいないものの、人材確保の難しい地域やサービスでは外注派遣費も増加しました。

新規出店による影響としましては、当中間連結会計期間においては、訪問介護3ヶ所、訪問入浴3ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、訪問看護6ヶ所、デイサービス3ヶ所、看護小規模多機能型居宅介護4ヶ所の合計20ヶ所(前年同期:11ヶ所)の新規開設を実施したことによる開設等の費用が増加しております。これに加えて、当中間連結会計期間で4件のM&A(株式取得及び事業譲受)を実施しております。サービスとしましては訪問介護1ヶ所、訪問入浴2ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、デイサービス10ヶ所、小規模多機能型居宅介護1ヶ所、ショートステイ1ヶ所、サービス付き高齢者向け住宅1ヶ所の合計17ヶ所のサービス事業所を取得し、その業績を取り込んでおります。これらの業績及び取得関連費用が短期的には利益を押し下げの一因となっておりますが、早期黒字化と収益改善を進めてまいります。

この結果、営業利益は12億87百万円(同20.1%減)、経常利益は13億33百万円(同18.2%減)、及び親会社株主に帰属する中間純利益は8億8百万円(同24.8%減)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります(セグメント間取引を含む)。

#### ・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護において、売上高はお客様の休廃止等の影響を受け想定よりも弱い伸びに留まりました。利益面では減益となっておりますが、これは主に報酬改定(基本報酬の引き下げ)の影響によるものであり、概ね想定通りの結果となりました。また、訪問看護においては、前期11ヶ所の開設に加えて、当中間連結会計期間に6ヶ所を開設したことでお客様数は増加しましたが、新規開設に伴う費用の増加等により増収減益となり、訪問系サービス全体でも増収減益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護において、当中間連結会計期間に4ヶ所を開設するなか、前期以前に開設した拠点が順調に収益貢献しております。デイサービスにおいては、当中間連結会計期間にM&Aにて10ヶ所を取得したことで増収となった一方で、既存拠点の回復が遅れていることや新規開設に伴う費用の増加等から減益となっております。また、グループホームでは外注派遣費が増加したことで減益になりました。

これらの結果、売上高は274億79百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は8億58百万円(同24.5%減)となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当中間連結会計期間末日において41ヶ所で活動しており、今期においても積極的にエリアを拡大してまいります。

・その他

その他においては、ケアロボット株式会社の介護ロボット販売事業の売上高及び利益が減少した一方、セントワークス株式会社の介護保険ASPシステムの販売事業で売上高及び利益が増加しました。その結果、売上高は6億71百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は64百万円(同10.8%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末(以下「前期末」という)より9億99百万円(前期末比3.2%)減少し、299億88百万円となりました。

流動資産は、前期末より11億45百万円(同6.5%)減少し、165億7百万円となりました。これは主に売掛金が5億7百万円増加した一方で、現金及び預金が17億38百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より1億45百万円(同1.1%)増加し、134億80百万円となりました。これは主に投資その他の資産が61百万円減少した一方で、無形固定資産が1億88百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より11億74百万円(同13.8%)減少し、73億10百万円となりました。これは主に流動負債「その他」に含まれております預り金が2億91百万円、未払金が2億69百万円、未払法人税等が2億50百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億3百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より41百万円(同0.6%)増加し、64億75百万円となりました。これは主にリース債務が85百万円減少した一方で、退職給付に係る負債が88百万円、長期借入金が54百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より1億33百万円(同0.8%)増加し、162億1百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億90百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2024年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,021,974	6,283,736
売掛金	8,459,988	8,967,568
棚卸資産	118,884	131,064
その他	1,067,015	1,139,583
貸倒引当金	△14,863	△14,475
流動資産合計	17,652,998	16,507,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,070,064	5,206,619
リース資産(純額)	2,379,369	2,296,169
その他(純額)	1,301,497	1,267,115
有形固定資産合計	8,750,930	8,769,905
無形固定資産		
のれん	301,756	420,538
その他	279,991	349,369
無形固定資産合計	581,747	769,907
投資その他の資産		
差入保証金	2,089,418	2,080,717
その他	1,912,667	1,860,000
投資その他の資産合計	4,002,085	3,940,717
固定資産合計	13,334,763	13,480,530
資産合計	30,987,762	29,988,007
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	549,550	537,293
1年内返済予定の長期借入金	965,389	761,536
リース債務	176,558	176,351
未払金	3,642,864	3,373,525
未払法人税等	772,598	521,952
賞与引当金	1,341,876	1,262,644
その他	1,035,636	677,020
流動負債合計	8,484,473	7,310,324
固定負債		
長期借入金	1,280,166	1,334,770
リース債務	2,782,103	2,696,659
退職給付に係る負債	2,100,248	2,188,414
資産除去債務	166,216	169,359
その他	105,830	86,714
固定負債合計	6,434,564	6,475,917
負債合計	14,919,037	13,786,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,405	1,773,080
資本剰余金	1,728,305	1,729,913
利益剰余金	12,801,029	12,991,545
自己株式	△229,548	△299,615
株主資本合計	16,072,192	16,194,924
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△84,052	△72,398
その他の包括利益累計額合計	△84,052	△72,398
新株予約権	80,584	79,239
純資産合計	16,068,724	16,201,765
負債純資産合計	30,987,762	29,988,007

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	26,960,637	27,993,222
売上原価	23,404,620	24,617,733
売上総利益	3,556,017	3,375,489
販売費及び一般管理費	1,944,465	2,087,585
営業利益	1,611,551	1,287,903
営業外収益		
受取利息	2,070	1,973
受取配当金	2,101	2,787
受取保険金	8,118	5,903
受取家賃	22,520	24,292
補助金収入	42,806	56,604
助成金収入	7,316	4,998
その他	22,553	21,846
営業外収益合計	107,487	118,406
営業外費用		
支払利息	64,623	60,572
持分法による投資損失	13,091	5,709
その他	10,210	6,415
営業外費用合計	87,925	72,697
経常利益	1,631,113	1,333,613
特別利益		
固定資産売却益	—	170
補助金収入	39,181	53,612
事業譲渡益	44,768	—
受取和解金	18,000	—
その他	—	424
特別利益合計	101,949	54,207
特別損失		
固定資産除却損	1,172	932
固定資産圧縮損	38,689	53,588
減損損失	4,696	—
特別損失合計	44,558	54,521
税金等調整前中間純利益	1,688,504	1,333,299
法人税等	613,944	524,806
中間純利益	1,074,560	808,493
親会社株主に帰属する中間純利益	1,074,560	808,493



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,074,560	808,493
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	8,477	11,654
その他の包括利益合計	8,477	11,654
中間包括利益	1,083,037	820,147
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,083,037	820,147

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	26,471,860	26,471,860	488,777	26,960,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,800	1,800	171,672	173,472
計	26,473,660	26,473,660	660,450	27,134,110
セグメント利益	1,138,143	1,138,143	72,866	1,211,009

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,138,143
「その他」の区分の利益	72,866
セグメント間取引消去	1,584,692
のれんの償却額	142
全社費用(注)	△1,184,293
中間連結損益計算書の営業利益	1,611,551

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	27,479,647	27,479,647	513,574	27,993,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	157,846	157,846
計	27,479,647	27,479,647	671,421	28,151,068
セグメント利益	858,864	858,864	64,991	923,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	858,864
「その他」の区分の利益	64,991
セグメント間取引消去	1,640,412
のれんの償却額	142
全社費用(注)	△1,276,507
中間連結損益計算書の営業利益	1,287,903

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。